

春のライラ報告

地区青少年活動委員会 委員長 北山 孝和（大阪中央）

2002～2003年度、春のライラを大阪船場RCのホストで5月3日より5月5日まで、淡輪の大阪府青少年海洋センターにて実施致しました。

今回の「人に優しく 地球に優しく 慈愛の苗木を育てよう」のテーマに沿って参加青少年101名、ロータリアン登録405名、参加ロータリアン110名と近年例の無い位の多人数でRYLA（青少年指導者養成プログラム）を実施出来たことは、ひとえに各ロータリアンのご理解が有ればこそと感謝申し上げます。

初日の澤田宗久大阪船場RC会員による基調講演『ロータリー活動について』（南太平洋における歯科医療奉仕活動と青少年育成）では、参加青少年とロータリアンに感動を与える素晴らしいお話と実習の「グループ活動」を行いました。

2日目は記念講演「自然保護大国でなければ21世紀は生き残れない」に続き、実習海洋プログラムでのカッターレース、夕刻には第2640地区との合同バーベキュー、キャンプファイヤーで、総勢300名の青少年とロータリアンが親睦と奉仕について夜遅くまで大いに語り合いました。

3日目最終日にはグループ討論で、テーマについて考え各班が発表を行いました。発表の内容は各班とも非常に内容の濃いもので良く勉強をして貰いました。

次回上級ライラを是非受講したいとの多くの青少年の声を聞き、2年ぶりの春のライラは大成功でした。

今回のライラホストクラブ大阪船場RC、上級ライラ修了生、ローターアクター、参加ロータリアンの皆様には誠に有り難うございました。誌面をお借りし感謝申し上げます。

